

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
小児がん拠点病院を軸とした小児がん医療提供体制のあり方に関する研究
分担研究報告書

「小児がん拠点病院における看護師の業務実態調査—病棟管理責任者からの報告—」

研究分担者 井上玲子 東海大学健康科学部看護学科 准教授

研究要旨：小児がん拠点病院（以下；拠点病院）の療養環境、看護体制、小児がん看護師教育の実態を明らかにするため、14施設の拠点病院病棟看護責任者に調査を行った。療養環境は院内学級、家族の宿泊施設、相談支援コーナーは概ね設置されているものの、家族サロンやきょうだい保育等の場の確保は未整備の施設が多かった。看護師の配置・体制は、小児がんに関連する専門看護師、認定看護師が半数程度の施設で配置されていた。小児がん看護の専門教育は、ほぼ全員の責任者が必要性を認知しており、半数程度の拠点病院で専門教育が実施されていた。今後、全施設において療養環境の整備に向け、看護体制、小児がん看護専門教育の充実が望まれる。

A．研究目的

拠点病院の施設環境、看護体制、小児がん看護師教育の実態を、小児がん患者が療養する病棟看護責任者の立場から明らかにする。

B．研究方法

拠点病院 15 施設の看護部長に調査協力を依頼。承諾の得られた 14 施設へ調査票を郵送。調査項目は 施設環境・設備、

看護体制、教育研修体制の 3 項目で、選択式、一部記述とした。看護部長より小児がん患者が療養する病棟看護責任者に配布してもらい、郵送・無記名にて返信を依頼した。

（倫理面への配慮）

研究者の所属施設の倫理審査会指針を遵守し、個人の自由意思、秘密保持に配慮した。

C．研究結果

15 拠点病院のうち承諾の得られた 14 施設に希望数の調査票を配布。全 23 部郵送し 14 部の回答を得た。

1．施設環境と設備は、院内学級や家族のための宿泊施設、相談支援コーナー（在宅連携室）はほぼ全拠点病院で整備されていたが、家族サロンやきょうだい保育等の場の確保は未整備の施設が多かった。

設問1. 小児がん患者・家族のための院内設備について			
	あり	なし	わからない
院内学級	14		
家族の宿泊施設	12	2	
化学療法室	11	1	1
在宅連携室	14		
家族のサロン	8	6	
家族の図書コーナー	8	5	1
緩和ケアチーム	14		
長期フォローアップ外来	11	3	
きょうだい保育	7	6	1
24時間面会	7	1	1
小児がん患者の入院可能な病棟数	1病棟: 1、2病棟: 4、3病棟: 3 4病棟: 1、5病棟以上: 5		

2. 看護師の配置・体制は、小児がんを専門とする小児専門看護師は8施設で、小児がんにかかわらずがん全般を専門とするがん看護専門看護師が4施設で配置されていた。がんに関連する認定看護師は、半数程度の施設で配置されていた。

	あり	なし
小児看護専門看護師	8	6
がん看護専門看護師	4	10
家族支援専門看護師	3	11
リエゾン看護専門看護師	3	11
がん性疼痛認定看護師	5	9
化学療法認定看護師	8	6
がん放射線認定看護師	1	13
緩和ケア認定看護師	9	5

また、医師・看護師以外の専門職では保育士の配置が最も多く、次いで臨床心理士、ソーシャルワーカーであった。

	あり	なし
保育士	12	2
臨床心理士	10	4
ソーシャルワーカー	11	3
チャイルドライフスペシャリスト	6	8
栄養士	6	8
理学療法士	7	7
薬剤師	8	6
教員	6	8
その他(子ども療法士)	1	

3. 小児がん看護の専門教育は、ほぼ全員の責任者が必要性を認知しており、半数程度の拠点病院で専門教育が実施されているが、多くの課題がみられた。

	あり	なし	わからない
小児がん医療に関連した院内研修	12	2	
小児がん看護に関連した院内研修	9	5	
研修への看護師の参加	11	3	
研修への参加の必要性	13	0	1
研修への看護師の参加人数	1~5人:4	5~10人以内:5	10人以上:2

対象患者が少ないので病棟の勉強会に留まってしまっている。
成人がんとは異なる小児がん特有のスタンダードな教育が必要である。
都内の研修は距離的に参加が難しいので、連携病院内での研修が望ましい。
看護師としてのキャリアや専門性育成のために研修に参加させることが望ましいが、全員を行かせる環境にない。
院内のルール上、可能な範囲で補助を受けさせることが必要

D. 考察

今後拠点病院では、小児がん看護を専門とする看護師の配置や、専門教育必要性を検討していくことが重要である。

E. 結論

患者の治療・療養にともなう設備、施設は充足し始めているが、家族のための設備、制度はすべての施設で十分とはいえなかった。小児がん看護に特化した知識、技術を要した高度実践看護師の配置は、充足してきているがすべての施設で十分とはいえなかった。施設は、すべての看護師に研修参加の機会を必要と考えているものの、費用、人数、期間、場所等の問題があった。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし